

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	阿波保健福祉センター・浴室棟及び 阿波地域農産物等活用型総合交流促進施設「あば交流館」
(2) 指定管理者	所在地 岡山県津山市山北520 名称 一般財団法人津山市都市整備公社 代表者 理事長 植月 優
(3) 公の施設の所管部署	津山市農林部ビジネス農林業推進室
(4) 指定期間	平成31年4月1日から令和4年3月31日
(5) 評価対象期間	令和3年4月1日から令和4年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	総利用者数 23,426人 (前年度 34,059人) 内 訳 前年度 飲食・宿泊等施設利用者数 3,347人 (2,779人) 温泉施設利用者数 20,079人 (31,280人) ※ 各利用者数の内訳は別紙添付を参照
(2) 事業の内容	温泉施設、飲食・宿泊施設の管理・運営

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 50,446千円 (前年度 46,016千円) 指定管理料収入 26,497千円 利用料収入 21,234千円 受取負担金 2,336千円 その他の収入 379千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 50,473千円 (前年度 46,152千円) 主な支出 人件費 16,606千円 需用費 16,555千円 役務費 1,068千円 委託料 (施設管理) 3,618千円 使用料及び賃借料 2,353千円 負担金 1,938千円 原材料費 6,604千円 備品購入費 65千円 公租公課 1,666千円

4 総合評価結果

<p>(1) 指定管理者の自己評価</p>	<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を徹底し、検温・換気・消毒等の対策を講じながら、安心安全な施設利用を第一にした管理運営に努めた。・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置に伴う津山市からの要請により、5月16日から6月20日まで、8月20日から9月30日までを臨時休館、1月27日から3月6日までを酒類の提供停止及び時短営業により対応した。・温泉施設利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したが、飲食・宿泊等施設利用者数は宿泊プランの新設やテイクアウト・デリバリーサービスの充実により増加した。・利用料収入は、一昨年度（コロナ以前）と比較し大幅に減少したが、津山市プレミアム付地域商品券「さくら」やグルメ券「うまい券2」、電子商品券「eつやま」、GoToイート食事券等のキャンペーンに積極的に参加し、集客と増収を図った。・当公社所有のマイクロバスで送迎サービスを行い、宴会・法要等の団体客への利便性の向上を図った。・当公社ホームページやFacebook等を活用して、利用者へ施設や料理、地域の情報等を積極的に発信した。・地域の交流を目的とし、阿波ふるさとふれあい納涼星空祭りへの出店やスローライフ列車の乗客へ向けた日帰り温泉入浴プランにより施設のPRと集客を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。・集客とコロナ禍での長期宿泊滞在者の確保を目指すため、「あば交流館」施設内のWi-Fi環境を整備した。・当公社が管理する高齢者総合福祉施設「めぐみ荘」利用者へ料理の配達を行うことで、増収に努めた。・「めぐみ荘」と入浴共同スタンプカードを導入し、施設の相互利用と利用促進を図った。また、入浴客に向けて、毎月26日に風呂の日イベントを開催した。
<p>(2) アンケート調査の概要</p>	<p>利用者の利便性向上と施設管理の充実を図るため、宿泊客を中心にアンケートを実施した。Wi-Fi環境を充実してほしいとの意見が多数あったため、自主事業としてあば交流館へ整備した。また足湯や「あば交流館」の浴室を温泉にしてほしいとの意見があり、令和4年度での実施を予定していた。</p>

(3) 市の評価

令和3年度は、前年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け、施設の休館や自主事業の自粛等を行わざるを得ないなか、新型コロナウイルス感染症対策事業を活用したり、日帰りプランを新設するなど、利用者へのサービス向上に取り組み、飲食・宿泊等施設利用者は前年より増加した。

指定管理期間の3年間にわたって新型コロナウイルス感染症の影響下での施設運営となり、阿波地域のイベントとの連携事業など実施できない計画もあり、厳しい情勢のなかでの運営となった。